

●小学生の部

日本動物福祉協会一等賞 福島 知乃心 (ふくしま とものしん)

「動物園の動物は幸せ？それとも不幸？」

僕は今まで、動物園の動物達が幸せか不幸かなんて考えたことがありませんでした。というより、動物達を見に行く時の僕の心はうきうきと弾んでいて、目の前の動物達もきっと幸せなんだと勝手に思い込んでいました。

でも、その思い込みが間違いだったのかも、と悩んでしまうできごとがありました。家でテレビを見ている時、ある動物園が取り上げられていて、そこに映し出された動物達の姿はとてもショッキングでした。自分の体の毛を口ばしでむしり取ってしまう鳥、狭いおりの中でグルグルと回り続ける熊、やせ細って骨がうき出たやぎなど、そんな動物達の姿は幸せとは正反対で、見ていて胸が締めつけられました。

(もし僕がこの動物達だったら…)

と想像するとそれは不幸だろうな、逃げ出してもっとのびのびと暮らしたいだろうなと思いました。僕が今まで行った動物園の動物達はどうだったんだろう、と思い返してみました。あのテレビの動物達みたいに辛そうな動物はいなかったと思いたいけど、彼らの気持ちを聞いたことがないし、聞けるはずありません。本当は動物園にいたことが嫌だったのかもしれない。少なくとも僕は、行きたい所にも自由に行けず、家族や友達、食べる物まで管理されるのは絶対に嫌です。だから動物園の動物達はみんな不幸に違いない、動物園はない方がいいのかも、と思い始めました。

この事を家族に話してみると、母が、「お母さんも同じ考えかも。珍しい動物が見たいとか、本物を子供達に見せてあげたいけど、それは人間のエゴだし動物には関係ないよね。」と言いました。すると父が、

「お父さんがもし動物だったら、外敵におそわれてすぐに死んでしまったり、食べる物に困って飢え死にしたりする野生の世界より、動物園で安全安心に暮らして長生きしたいなあ。」と言いました。僕はおどろきましたが、父らしい考えだな、と思いました。なるほど確かにそんな風を感じる動物もいるかもしれません。それに、世界の動物園の中には、動物達を放し飼いにし、自由にのびのびと過ごさせている所があると教えてくれました。逃げることもできるのに逃げないのなら、そこが快適で安全だと分かっているのかもしれない。そのような動物園ならむしろ大歓迎です。日本の動物園もそういう取り組みをしてくれていると知り安心しました。

それに、動物園の目的は、「見せる」だけでなく、「守る」ことでもあると調べて分かりました。絶滅の危機にある動物を保護して種を絶やさないようにしていくことです。どの動物も子孫を残したいという本能を持っているので、命をつないでくれる動物園は、動物達にとってありがたい所かもしれません。そして、母がこんなことを言いました。

「動物園でいろんな動物達を見ると、親しみがわいてより身近に感じるし、この動物達を守っていきたくと思う人が増えるかもね。凶鑑の中だけだと無関心になっていってしまうかも。」と。僕はそれを聞いて、動物にとって快適で命をつないでくれる動物園なら、皆で支えていかなければいけないと思いました。それに、お金を払って動物園に行く事はそのお金が動物たちの住む環境が良くなることに使われて、保全活動にもつながります。

動物園の全ての動物達に、幸せか不幸かを聞くことは無理だけど、一匹でも不幸と感じる動物がいなくなることが理想です。動物達が安全安心で生き生きと暮らせる動物園だけを増やしていきたいです。